

令和元年度 第12回総合診療専門医検討委員会 (通算19回) 議事録

開催日時 令和2年3月5日 木曜日 18:00-20:00

会場 TKP 東京日本橋カンファレンスセンター 302

出席者 委員長 羽鳥 裕

副委員長 竹村 洋典

委員 有岡宏子、石松伸一、金丸吉昌、草場鉄周、清水俊明

園田幸生、野村英樹、前野哲博、山田隆司、吉田素文、渡辺 毅

オブザーバー 松原謙二、高橋洋光

Web出席者 委員 井上健一郎、大平善之、

オブザーバー 内藤俊夫

欠席 委員 浅井文和、有賀 徹、生坂政臣、太田光泰、清水貴子、北村 聖、

田妻 進、邊見公雄、横山彰仁

議題

1. 総合診療専門研修についてのご案内(案)について 資料7-1

●前野委員 草場委員より

・p.5 社会人大学院生としての在籍が研修の一環 この解釈でいいか。⇒確認する。

・p.5. 100%のエフォートという表現は フルタイム研修の意味であるが、もう少し表現を柔らかくしてもいいか。⇒表現を修正する。

・p.5 5. プログラムの概要 総合診療I+IIで18ヶ月以上の記載がないのでは。⇒理事会決定に基づく一次審査基準に合わせた。

2. 3月の特任指導医講習会関連 資料4-1

特認指導医講習会 仙台は6月に延期の予定。

なお、プログラム運営上、今年度内に特認指導医講習会受講が必要な対象者は30人程度である。6月の追加研修を受講するまで、暫定的に特任指導医と認め、指導可能とする。で6月に参加できない場合は救済策を検討する。

3. スキルアップセミナー、プログラム統括責任者会議について 資料4-1

特任指導医講習会(有料)とスキルアップセミナー(無料)、プロ責講習会(有料)とプロ責会議(無料)をそれぞれ同時開催で実施するよてい。開催地は 東京、大阪を交互に。詳細はさらに作業部会で進める。

4. 内科領域とのダブルボードの専門研修内容について 資料2-1

救急アドバイザーの石松先生から、救急ローテーションが必要との意見。ただし、ブ

ロック研修のみならず、場合によっては単位制にて実施可能とすることとなった。

資料 2-1 の 1. の内容で内科領域総合診療領域ダブルボード検討委員会に提出することとなった。

5. ダブルボードアンケート・サブスペアンケートについて

基本領域あてのダブルボードアンケートを資料 1-5 で実施することとなった。

サブスペのアンケートを資料 1-6 で実施することとなった。

6. 総合診療専門医試験について

(1)進捗状況 資料 5-1

I 試験実施要項

1. 工程表確認

実施 2021.09 の土日 2 日間に決定。筆記 1 日、面接 1 日で行う。

場所は新橋周辺のカンファランスセンター。面接試験用の小部屋あり。

2020. 4-12 月 問題作成委員の決定 依頼

2021. 4-5 月 問題選定から決定へ

2. 認定方法

出願書類の審査、筆記試験、面接試験で評価することを本日委員会としては了承。

面接試験はどのような目的でどのように実施するか要検討

一人に対して 2 人の面接官 15 分程度

経験症例についての考察について掘り下げた質問をするのはどうかなどの意見があった。

また、15 分程度の面接で評価できることは少ない、せめて最低限のラインに到達しない人

を見極めて不合格とすることを目的にするか、基本は合格させる前提で、対象は認定されたプログラム修了者であるので、よほどの人を落とす、というくらいしかできないのでは、などの意見があった。

3. 実施体制

(オ) 印刷 (キ)Key Validation 文責などを業者に依頼するため秘密保持契約についてすすめている。

問題の質をコントロールするために Key Validation 分析を実施する予定。

4. 筆記試験問題(冊子)の作成 資料 2-2, 2-3

(ア) 問題作成方針・計画

①出題数 240-250 問

②総合診療 I・II 120 問、内科 80 問(知識 20 問、臨床 60 問)、

救急 20 問（石松委員は了承。ブラッシュアップも検討可能） 小児科 20 問（清水委員は了承。ブラッシュアップも検討可能）の構成とすることで了承された。さらに医療安全や感染症などの共通問題 10 問も増やす可能性があることが報告された。

（イ）試験委員の選択、問題作成依頼

- ① 各学会（領域）に依頼予定。作問、ブラッシュアップ、どこまで各学会と一緒に行うか当該学会と議論が必要との議論があった。また問題漏洩予防のために、選択肢を変えたりする工夫はしてもいいとの議論があった。
- ② 1.5 倍の問題作成し、その中から使用する問題を選定することになることが報告された。
- ③ 今後、問題作成委員会などを構成し、委員へ依頼する予定。
- ④ 日本内科学会には、には知識 20 問、臨床 60 問の作成を機構理事長から依頼する予定。

5. 出題基準の策定

「医師国家試験出題基準」をひな形とし、整備指針に基づいて総合診療医版を作成することとなった。

7. 2020 年度事業計画 資料 8-1

資料 8-1 の事業計画が了承された。

8. その他

- ① サイトビジットの実施要項などの修正案が資料 1-1～1-4 で提出され、了承された。
- ② 資料 9-1 内科プログラムへの変更願があり、了承された。
- ③ 経験省察研修録の一本化について

目標が細かく提示されているもの（タイプ A）と大枠を示して自律的な学修を促すもの（タイプ B）が混在する事による混乱が生じている。タイプ A はタイプ B に包含することが可能であることから、2020 年度研修開始の専攻医から、いわゆるタイプ B に 1 本化することになった。ただし、専攻医、指導医に説明の十分な説明が必要なため、

説明文章の作成など、今後議論を継続していくことになった。

- ④ 日本プライマリ・ケア連合学会の後期研修に関わる質問があり、資料 10-1 にて回答することが了承された。

